

**ニュースリリース**

報道関係各位

2015年2月4日  
一般財団法人日本気象協会

**2015年桜開花予想(第1回)**  
～3月は次第に暖かくなり 開花は平年並みに～

一般財団法人日本気象協会(本社:東京都豊島区、会長:縄野 克彦)は、2015年2月4日(水)に日本全国48地点の桜(ソメイヨシノ)の開花予想(第1回)を発表します。開花予想は天気予報専門サイト「tenki.jp」(<http://www.tenki.jp/sakura/>)にて無料で公開しています。

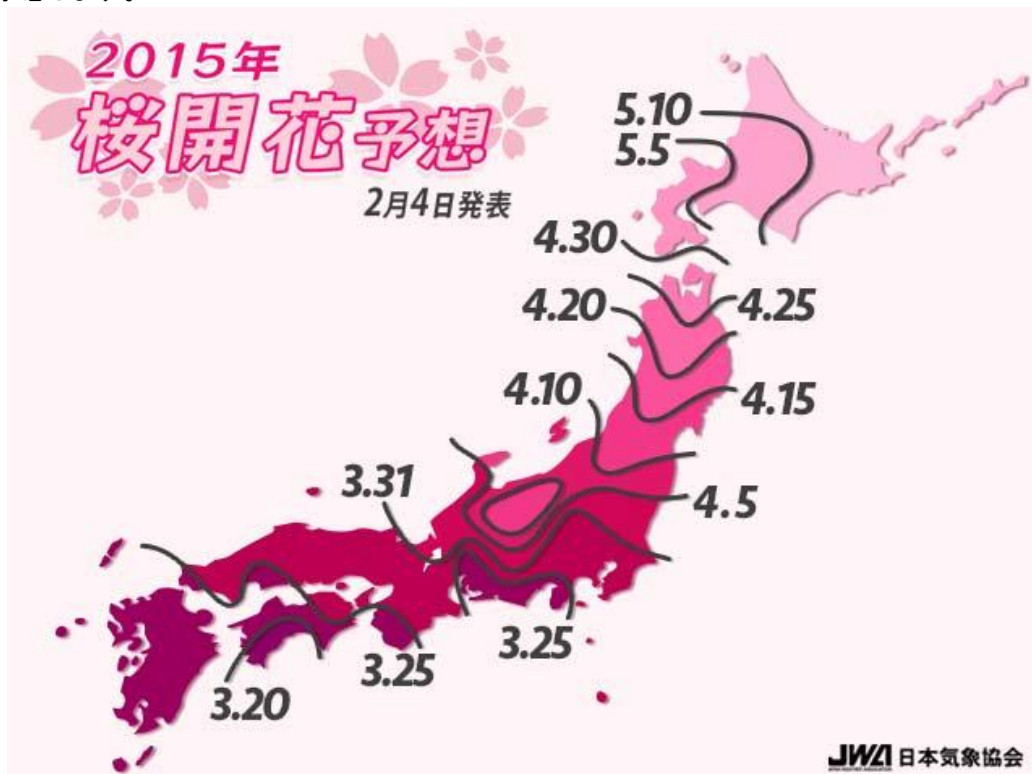
(1) 概況

2015年の桜(ソメイヨシノ)は、各地とも平年並みの時期に開花するでしょう。桜前線は3月20日頃に高知をスタートし、四国や九州から中国・近畿・東海地方へと順調に北上する見込みです。3月末には関東北部に到達し、4月末には津軽海峡を渡るでしょう。

(2) つぼみも桜シーズンに向けて順調に準備中

桜の開花は、前年の秋から開花日までの気温が影響し、晩秋から初冬に冷え込み、春先に暖かくなると開花が早くなります。昨年の11月は全国的に気温が高くなりましたが、12月は厳しい冷え込みとなりました。このため、休眠打破は順調に行われていると考えられます。この先、西日本と東日本は、2月の前半は気温が平年より低い時期がありますが、3月は概ね平年並みとなる見込みです。このため、桜の開花日は平年並みでしょう。また、北日本は4月に平年より気温が低い時期がありますが、桜の開花日が遅れるほどではなく、平年並みに開花する見込みです。

開花日は、福岡は3月21日頃、大阪は3月27日頃、名古屋は3月25日頃、東京は3月26日頃、仙台は4月12日頃と予想します。



2015年 桜開花予想前線図

● JWA 長期予報

気温	2月	3月	4月	～桜開花予想チームの見解～
北日本	平年並	平年並	平年より低い	2月から4月の気温は概ね平年並みに経過するでしょう。西日本と東日本は2月の前半、北日本は4月に気温が平年より低い時期がありますが、桜の開花日への影響は小さく、各地の桜の開花日は平年並みになる見込みです。
東日本	平年並か低い	平年並	平年並	
西日本	平年並か低い	平年並	平年並	

# ニュースリリース

別紙

## ● 各地の桜(ソメイヨシノ)の2015年予想開花日の傾向(2015年2月4日発表)

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
九州地方	福岡県	福岡市	平年並	3月21日頃	3月23日	3月19日
	大分県	大分市	平年並	3月23日頃	3月24日	3月25日
	長崎県	長崎市	平年並	3月22日頃	3月24日	3月20日
	佐賀県	佐賀市	平年並	3月22日頃	3月24日	3月19日
	熊本県	熊本市	平年並	3月21日頃	3月23日	3月20日
	宮崎県	宮崎市	平年並	3月22日頃	3月24日	3月19日
	鹿児島県	鹿児島市	平年並	3月25日頃	3月26日	3月20日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
四国地方	香川県	高松市	平年並	3月27日頃	3月28日	3月26日
	徳島県	徳島市	平年並	3月27日頃	3月28日	3月29日
	愛媛県	松山市	平年並	3月23日頃	3月25日	3月24日
	高知県	高知市	平年並	3月20日頃	3月22日	3月18日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
中国地方	広島県	広島市	平年並	3月25日頃	3月27日	3月25日
	岡山県	岡山市	平年並	3月28日頃	3月29日	3月28日
	島根県	松江市	平年並	3月29日頃	3月31日	3月27日
	鳥取県	鳥取市	平年並	3月29日頃	3月31日	3月27日
	山口県	下関市	平年並	3月25日頃	3月27日	3月25日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
近畿地方	大阪府	大阪市	平年並	3月27日頃	3月28日	3月27日
	滋賀県	彦根市	平年並	4月3日頃	4月2日	4月2日
	京都府	京都市	平年並	3月27日頃	3月28日	3月27日
	兵庫県	神戸市	平年並	3月27日頃	3月28日	3月27日
	奈良県	奈良市	平年並	3月28日頃	3月29日	3月27日
	和歌山県	和歌山市	平年並	3月24日頃	3月26日	3月26日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
東海地方	愛知県	名古屋市	平年並	3月25日頃	3月26日	3月24日
	静岡県	静岡市	平年並	3月24日頃	3月25日	3月24日
	岐阜県	岐阜市	平年並	3月25日頃	3月26日	3月24日
	三重県	津市	平年並	3月29日頃	3月30日	3月27日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
関東甲信地方	東京都	東京都心	平年並	3月26日頃	3月26日	3月25日
	茨城県	水戸市	平年並	4月3日頃	4月2日	3月29日
	栃木県	宇都宮市	平年並	4月2日頃	4月1日	3月29日
	群馬県	前橋市	平年並	3月31日頃	3月31日	3月29日
	埼玉県	熊谷市	平年並	3月30日頃	3月29日	3月28日
	千葉県	銚子市	平年並	3月30日頃	3月31日	3月29日
	神奈川県	横浜市	平年並	3月27日頃	3月26日	3月25日
	山梨県	甲府市	平年並	3月28日頃	3月27日	3月28日
	長野県	長野市	平年並	4月12日頃	4月13日	4月11日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
北陸地方	新潟県	新潟市	平年並	4月10日頃	4月9日	4月7日
	富山県	富山市	平年並	4月5日頃	4月5日	4月2日
	石川県	金沢市	平年並	4月4日頃	4月4日	4月1日
	福井県	福井市	平年並	4月3日頃	4月3日	3月31日

## ニュースリリース

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
東北地方	宮城県	仙台市	平年並	4月12日頃	4月11日	4月7日
	青森県	青森市	平年並	4月25日頃	4月24日	4月22日
	秋田県	秋田市	平年並	4月18日頃	4月18日	4月20日
	岩手県	盛岡市	平年並	4月21日頃	4月21日	4月13日
	山形県	山形市	平年並	4月15日頃	4月15日	4月14日
	福島県	福島市	平年並	4月10日頃	4月9日	4月8日

	都道府県		予想開花傾向	予想開花日	平年(開花日)	昨年(開花日)
北海道地方	北海道	札幌市	平年並	5月5日頃	5月3日	4月29日
	北海道	室蘭市	平年並	5月8日頃	5月6日	4月29日
	北海道	函館市	平年並	5月2日頃	4月30日	4月28日

### ※言葉の説明

平年：1981～2010年の平均値

- かなり早い：平年よりも7日以上早い
- 早い：平年よりも3日から6日早い
- 平年並：平年との差が2日以内
- 遅い：平年よりも3日から6日遅い
- かなり遅い：平年よりも7日以上遅い

日本気象協会は、1950年の設立以来、60年以上にわたり、広域予報にとどまらない、より生活に身近な都道府県単位の気象予報やピンポイントの気象予報を、各メディアや自社メディアを通して発表している民間の団体です。国内の民間事業者としては最大の規模で、全国に支社や支店、事業所があり、天気予報のエキスパートである気象予報士265名(2014年7月現在)が多面的に業務に関わり、気象予報の業務に関しては24時間365日体制で最新の情報を発信しております。

また、その事業分野は気象予報にとどまらず、そのノウハウを生かし防災・減災、安全管理、また環境アセスメントや再生可能エネルギーに関する事業分野など、皆様の快適な日常生活や安全確保の支援や、産業活動の発展や環境の保全のために事業を展開しております。

[www.jwa.or.jp](http://www.jwa.or.jp)

報道関係各位

2015年2月4日  
一般財団法人日本気象協会**2015年 桜開花予想に関するよくあるご質問・お問い合わせ**

日本気象協会の桜開花予想について、よくあるご質問をまとめました。報道の際に、参考にご利用ください。

**Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？**

A1: 第1回は2月4日(水)、第2回は2月26日(木)、以降、3月から4月下旬まで毎週金曜日に発表します。2月中は【〇月〇日頃】として開花時期の傾向を発表し、3月以降は【開花日〇月〇日】【満開日〇月〇日】の形で発表します。

**Q2: 日本気象協会の開花予想の特徴は？**

A2: 各地気象台の標本木、公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しています。

**Q3: 開花日・満開日の基準は？**

A3: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5~6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

**Q4: 予想する地点数は？**

A4: 2月中に発表する開花時期の傾向は48地点、3月以降に発表する開花日・満開日予想は全国で約90地点を発表します。予想地点約90地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる約35地点を対象としています。

**Q5: 日本気象協会の桜開花予想の手法は？**

A5: 独自手法を用いて開花予想をおこなっています。独自手法とは、花芽の生育過程に大きな影響を与える、秋以降の気温経過に重点を置いた独自の予測式を用いるものです。

2014年の桜開花/満開予想の平均誤差は、開花予想が2.9日、満開予想は3.1日でした。東海・関東地方や北海道の開花直前の高温が十分に予測できず、予想より数日早い開花になったため誤差が生じました。

**Q6: 開花予想に使うデータは？**

A6: ①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値(当協会ポイント予報および長期予報アンサンブルGPV)を使用しています。

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽(はなめ)は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。

**Q7: 開花予想はどこで見られる？**

A7: JWA 公開 HP(<http://www.jwa.or.jp/>)、tenki.jp(<http://www.tenki.jp/sakura/> :PC・スマートフォン対応)、でご利用いただけます。tenki.jp では、開花(満開)の予測だけでなく、3月以降は、全国のお花見ポイントの実況や見どころ情報も提供します。

●お問い合わせ先: 一般財団法人日本気象協会 広報課 TEL:03-5958-8147、FAX:03-5958-8203